

4 音の連続

文や句の中では、2つの単語がつながって区切りなしで発音されることがある。その際、前の語の最終音と後の語の最初の音がつながったり、いずれかの音が違う音に変化したり消滅することがある。英語を聞き取る際の重要なポイントであるし、音読や会話練習の際は意識して発音してみたい。

A 連結

“an orange”は“an” ([ən])と“orange” ([ó:rindʒ])からなっているが、これらは独立して発音されるわけではなく、[n]と母音がつながって[ənó:rindʒ]になる。(「アン・オーリンジ」ではなく、「アノーリンジ」のように発音するとよい。)。また、“stop it”も“stop”の[p]と“it”の[i]がつながって[stápít]のようになる。このように前の単語の語末子音と後の単語の語頭母音がつながって発音されることを連結と呼ぶ。区切りを入れずに、全体が1つの単語であるかのように発音するとよい。

(1) [n] + 母音

(例) run out [rán] + [áut] → [ranáut]
on earth, one of the students, taken away, open it, in an hour

(2) [r] + 母音

(例) far away [fá:r] + [əwéi] → [fɑ:rəwéi]
a pair of socks, for example, here and there, pour it

[参考] イギリス英語では基本的に語末の“r”を発音しないが、後に母音で始まる語がくると“r”が現れる。

(3) [m] + 母音

(例) come in [kám] + [ín] → [kamín]
some of the men, I'm a student., them all

(4) [t] + 母音

(例) get up [gét] + [áp] → [getáp]
liked it, state of affairs, a point of view

[参考] アメリカ英語では、この場合の[t]音が「ら」あるいは「だ」に近い音(弾音)に変化する。イギリス英語では[t]が強い息を伴って発音される。

(5) [d] + 母音

(例) stand up [stánd] + [áp] → [stándáp]
good at, hide away, bend over

[参考] アメリカ英語では、この場合の[d]音が「ら」または「だ」に近い音(弾音)に変化する。

(6) [p] + 母音

(例) get up and go [áp] + [ənd] → [ápən(d)]
keep it, wipe out, type a letter

(7) [k] + 母音

(例) took out [túk] + [áut] → [túkáut]
sick in bed, take away, speak up

(8) [ŋ] + 母音

(例) thinking about
king and queen, sing along, hang out